



開館20周年記念!

もうすぐムシの日! 昆虫好き集まれ

カブトムシ VS ワガタムシ



みんなのあこがれ! カブトムシとワガタムシの最新研究についての講演会と、体験ワークショップを開催します。

と き 6月2日回 ①講演会: 午前10時30分~正午 ②ワークショップ: 午後2時~3時

講 師 ①講演会: 九州大学教授 荒谷邦雄・基礎生物学研究所 教授 新美輝幸

②ワークショップ: 基礎生物学研究所 学振特別研究員 小長谷達郎・特任助教 倉田智子

参加費 無料 定 員 ① 80人 ② 20人 (開始45分前整理券配布)

いのち 生命の海から

学芸員 森 浩嗣

海に戻った爬虫類と、海に戻れない爬虫類

はじめまして! 2月から生命の海科学館で学芸員として働いている森です。これまでにアラスカや九州で古脊椎動物化石の研究をしてきました。

さて、当館に骨格標本が展示されている、海生爬虫類の仲間首長竜プレシオサウルスや魚竜イクチオサウルスですが、実は彼らは恐竜ではありません。

今生きている生物と比較すると、プレシオサウルスはヘビやトカゲに近い仲間です。イクチオサウルスの方は、まだはっきりとした結論は出ていませんが、やはりヘビやトカゲに近い仲間だったようです。一方、恐竜はというと、ワニやカメ、そして鳥に近い仲間です。

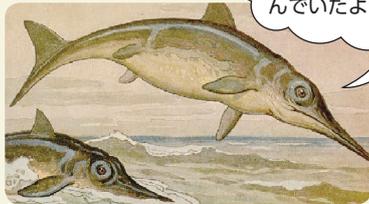
ヘビやトカゲの仲間は、これまで何度も海に完全適応してきました。おなかの中で卵をかえして赤ちゃんを産めるように進化したものもいます。そのように進化したものは一生ずっと水

中で生活できるのです。一方、恐竜・ワニ・カメ・鳥の仲間では完全に適応したものはいません。ウミガメもペンギンも、卵を産むときにはわざわざ陸にもどってくる、いわば両生類のような生活を続けています。

ヘビやトカゲの卵は柔らかい殻ですが、恐竜・ワニ・カメ・鳥の卵は乾燥した陸上に適応した結果、硬い殻になりました。おなかの中で卵をかえす、とはいかないようです。乾燥した陸上に適応した結果、海に戻れなくなったというのは皮肉な話ですね。



亀は陸で産卵しますが、イクチオサウルスは海で子どもを産んでいたようです。



ショー

ワークショップ

おはなし

6月 イベントカレンダー

- 1 科学ふしぎ発見! 133話
 - 2 もうすぐムシの日!
昆虫好き集まれ
カブトムシVSワガタムシ
 - 8 今日からキミもエビ・カニ博士!!
 - 9 もうすぐはやぶさの日! 講演会2019
「はやぶさ」リュウグウ探査中!
展示解説アッコの知らない月世界
小学校高学年向け理科実験室
虹を科学する
 - 15 ワイヤーでアクセサリーを作ろう
 - 16 小学校低学年向けかがく工作室
竹島の生き物かんさつ
かがく工作室^{会員限定}
アロマの石鹸づくり
 - 20 一般科学講座第一部
エビのおなかにはカニのふんどし
十脚甲殻類のオモシロ分類学②
一般科学講座^{会員限定}
 - 22 おはなしライブ
「新元号 令和」
アレンジメントフラワー
 - 23 平出さん・中村さんの
マジックショー
展示解説イクチオサウルスの正体
小学校中学年向けかがく教室
さらさら輝く万華鏡をつくろう
 - 29 ナマエビすくい大会
 - 30-29 宝石の中の原石から
宝石をさがそう!
- 木工工作 6月1日・2日開催
- 各イベントの時間・定員・参加方法などは科学館ホームページでご確認ください。